

日付	月 日 ()		
経過	ダラキュー口投与後退院		
	1病日		
治療スケジュール	ダラキュー口を皮下注射します。 副作用症状がなければ退院となります。		
目標		予定どおり治療が終了する。	
検温	入院後、検温があります。		
処置・測定	医師の指示に応じて、心電図モニターを装着し、波形の観察を行います。 適宜検温し、バイタルサインの変動に注意しながら治療を進めていきます。 退院が決まったら点滴ルートを抜去します。		
説明・指導	ダラキュー口の副作用症状について説明を行います。 退院説明をおこないます。		
食事	化学療法中、食欲がない時は食事内容は変更できるので希望があれば看護師に伝えてください。 お薬がのみづらいときは変わりの注射や点滴をします。		
生活・行動	歩行は自由です 毎日シャワー浴を行いましょう。お体が辛いときは体拭きを行います。 感染予防のため手洗い・含嗽をしっかり行いましょう。		
その他	【抗癌剤の副作用症状について】 ・ダラキュー口 アレルギー症状が出現しやすいです。投与開始～24時間以内に出現します。 発熱・悪寒・悪心・発疹・血圧低下・呼吸困難・咳嗽など →抗アレルギー薬、ステロイド剤を投与します。 【その他副作用症状】 ・悪心・嘔吐 →制吐剤の投与、食事内容の変更、必要時栄養の点滴を行います。 ・口内炎 →うがい、歯磨きの指導を行います。必要時はうがいの水を変更します。 ・血球減少 白血球が低下すると、病原菌に対する抵抗力が低下し感染症を起こしやすくなります。 →白血球回復のため、ノイトロジンというお薬を注射します。感染予防について指導します。 また予防のため抗生剤の投与を検討します。 →必要に応じて輸血を投与します。 		

注) 予定は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります。